

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	通正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												デング熱	ProMED-mail20071112.3670	コスタリカ保健当局は2007年1月以降デング出血熱症例288例(死亡7例)が報告され、デング出血熱症例の増加が懸念されると2007年11月9日に警告した。この症例数は2006年の報告数(72例)より300%増加している。古典的デング熱症例は合計24000例報告されている。
												C型肝炎、HIV 感染	共同通信、The New York Times 2007年11月13日	米国シカゴで、2007年1月に臓器移植を受けた患者がエイズウイルスとC型肝炎ウイルスに感染したことが判った。感染した4人は1人のドナーからの臓器提供を受けていた。感染してから検査で判別できない約3週間の「空白期間」に移植が行われたとみられる。臓器移植でエイズウイルスに感染した例は22年ぶりである。
												C型肝炎	共同通信 2007年11月14日	C型肝炎ウイルスの混入した輸血用血液が日赤の検査をすり抜けて提供され、輸血を受けた50歳代女性が感染したと思われる事例が、2007年11月14日、厚生労働省の血液事業部会運営委員会で報告された。厚生労働省によると、NATが導入された1999年以降、HCVの検査すり抜けはほぼなくなったが、完全にゼロにすることは困難という。2003、05、06年にも1例ずつ、すり抜けが報告されている。
												チクングニヤウイルス感染	ProMED-mail20071209.3973	米GalvestonのUniv. Texas Medical Branchの研究者らが、インド洋のLa Reunion島における原因不明の疾患の原因を発見したことを発表した。研究者らは、266000例が感染し、少なくとも280例が死亡した流行疾患は、チクングニヤウイルスの単一の突然変異によるものであり、このウイルスは、以前はウイルスを保有していることが知られていなかったAedes albopictusにより伝播されることを証明した。
												デング熱	ProMED-mail20071211.3989	インドネシア中部ジャワJombangでは、2007年12月8日現在、デング熱に罹患した537例が治療を受け、内16例が死亡した。この症例数は2006年と比較して2倍以上である。増加は2007年10月以降より顕著になった。